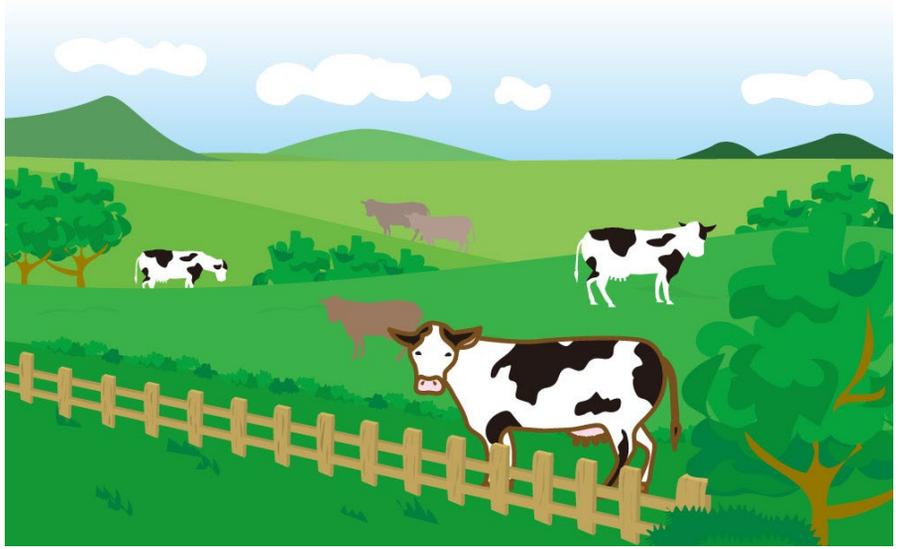


(参考1) 畜産関係の技術



● 主なメーカー（本資料に掲載）

(株)ジョイ・ワールド・パシフィック

(株)セラク

(株)リモート

/NTTコミュニケーションズ(株)

(株)セントラル情報サービス

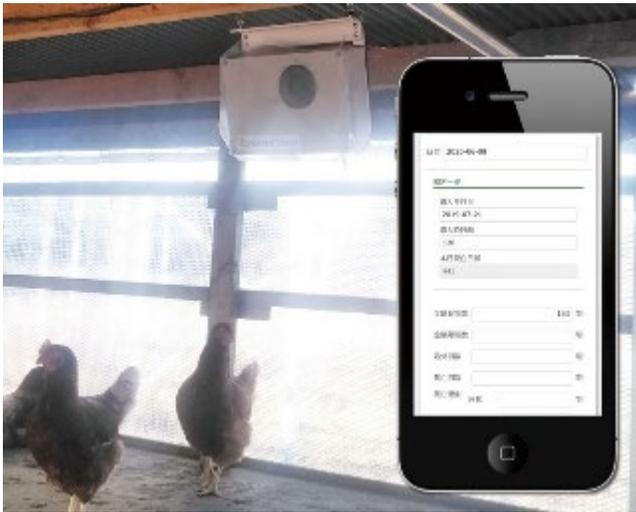
(株)ファームノート

(株)コンピューター総合研究所

(株)Eco-Pork

<株>ジョイ・ワールド・パシフィック

スマート採卵養鶏システム：鶏舎環境計測・クラウド鶏卵日誌



【製品説明】

- 鶏舎内環境を適正に管理、環境に異常があればアラート通知
- 訪問者、採卵数、採卵率、死亡鳥の羽数、出荷数など管理でき HACCP管理導入前の記録として利用可能

【これまでの実績、利用者の声】

- 鶏舎の環境が遠隔モニタリング可能。養鶏日誌で生産、衛生、製品・出荷管理できる。

【対象営農類型】

酪農	肉用牛	養豚	養鶏	飼料作物
----	-----	----	-----------	------

【価格】

- イニシャルコスト：オープン価格
 - ランニングコスト：
 - ・SIM等利用料：26,400/年（税込）
 - ・養鶏ASP：13,200円/年（税込）
- * 価格は変更になる場合がございます。
* 本体リースも可能です。

☎連絡先

株式会社ジョイ・ワールド・パシフィック
ITビジネス課
TEL:0172-44-8133
info@j-world.co.jp

【実施事例】



【事例説明】

- 導入都道府県・市町村
栃木県、長野県、千葉県、岡山県など
- 導入台数：15台
- 導入効果：
 - ・養鶏日誌ASPで来訪者や死亡鶏、採卵率、作業内容等クラウドで管理
 - ・卵パック製造数、出荷数、在庫等を管理
 - ・鶏舎内の環境をモニタリングし、しきい値を越えるとアラート発報

管理項目

導入年月日、導入時日齢、飼育羽数、隔離羽数、処分羽数、死亡羽数、死亡理由、産卵数、割れ玉数、作業報告、個人別作業内容、来客記録、機械設備故障、鶏糞記録、製品生産データなど

レポート出力

畜伝染病予防法第52条に基づく報告、養鶏データ、作業内容、餌まき量、作業項目、来客記録、機械設備故障、鶏糞記録など

その他

餌配合データ管理、環境データと産卵率グラフなど



<(株)セラク>

【ファームクラウド】



【対象営農類型】

酪農	肉用牛	養豚	養鶏	飼料作物
----	-----	----	----	------

【価格】

本体料金：¥220,000～（税込）

月額料金：¥9,922～（税込）

📞 連絡先

(株)セラク みどりクラウド事業部

03-6851-4831

info@midori-cloud.net

<https://www.seraku.co.jp/farmcloud/>

【製品説明】

- 本体に接続したセンサー【温度、湿度、CO2濃度、流水量、風向・風速】で畜舎環境を自動で計測・記録。遠隔からの畜舎の確認や、異常時には警報で通知。
- パソコンやスマートフォンで常に環境データの確認が可能。記録された数値はグラフで表示。畜舎に設置したカメラの静止画も確認出来る。夜間も含めて農場の見回り作業の省力化につながる。また、外部サービスとの連携も対応しており飼料用タンクの残量モニタリングも可能。

【これまでの実績、利用者の声】

- 豚舎内の環境を緻密に管理する事により1日当たりの増体重が約50グラム増えた
- 遠隔で畜舎内の環境モニタリングが可能になり、巡回に掛かる時間が最大1日1時間短縮できた

【実施事例】

鶏舎のPLCと連携し、データの活用につなげる

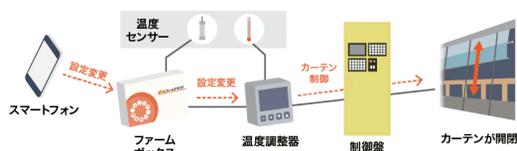


モニタに表示するだけの運用だった給餌量・給水量・産卵数などのデータをクラウドに送信することで、データを業務の改善に役立てられるようになります。

ポイント

- 鶏舎の巡回頻度の削減!
- 異常をスマートフォンに通知できる!
- 蓄積したデータが見やすく、業務改善に活用できる!

温度調整器・制御盤と連携したカーテンの遠隔制御



従来の温度調整器・制御盤にファームボックスを接続することで、遠隔からカーテンの開閉温度の調整などの操作を実行できるようになります。

ポイント

- スマートフォンで温度調整器の設定温度を変更できる!
- 遠隔で設定変更をしてカーテンを開閉し、農場での張り付き業務を削減!

養豚場の浄化槽と連携し、見回りのコストを削減



アナログのセンサーを定期的に見回りする運用だった浄化槽に導入。データをクラウドに連携することで異常の通知やデータの利活用に役立ちます。

ポイント

- 農場から離れた浄化槽の巡回頻度を削減!
- 警報機能で異常を察知して、設備トラブルを回避できる!
- データを蓄積して管理会社に共有する事で、業務改善に活用できる!

【事例説明】

- 現在、全国で160台の販売実績がある。
- 他社の制御機器と連携して省力化・事故防止に繋がる設備の遠隔制御が可能。
- 仕様によってはアナログセンサーと連携が可能で、計測値の遠隔モニタリングによって省力化・事故防止に繋がる運用が可能。
- ログインの制限を設けて無いので従業員同士の情報共有へ活用が可能。

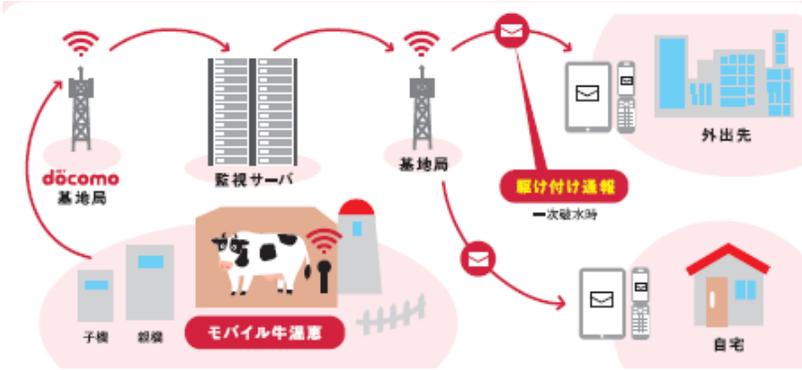
<株>リモート/NTTコミュニケーションズ(株)>

牛の分娩・発情発見システム【モバイル牛温恵】

REMOTE

あなたと世界を変えていく。

docomo business



【対象営農類型】

酪農	肉用牛	養豚	養鶏	飼料作物
----	-----	----	----	------

【価格】 (税込み)

母牛50頭規模の場合
 初期導入費用 約 ¥ 600,000
 月額利用料 ¥ 8,250

👉 連絡先

牛温恵カスタマーセンター
 TEL:0570-783-133
 info@remote.co.jp
<https://www.gyuonkei.jp/>

【製品説明】

- 無線センシング機能を有した体温センサーを牛の膈内に挿入することにより、微妙に変化する体温を5分毎0.1℃単位で計測し、その情報をモバイルデータ通信網を介して監視サーバで保存管理・情報提供する。
- 分娩が予想される1週間前にセンサーを膈内へ挿入留置することにより、分娩の約24時間前の段取通報や、分娩直前の駆付け 通報を行い、分娩準備や分娩介助を行うタイミングをスマートフォンやタブレット等へメール通知する。また、発情前が予想される1週間前にセンサーを挿入留置することにより、発情通報や妊娠鑑定を行うことができ、繁殖成績の向上に貢献する。

【これまでの実績、利用者の声】

- モバイル牛温恵の導入牧場は3,200牧場、約128,000頭の母牛に活用され、日々約320頭の分娩をサポート。
- 畜産農家さんとタッグを組んで「分娩事故ゼロへの挑戦」を行っている。

【実施事例】

図1. 分娩事故率



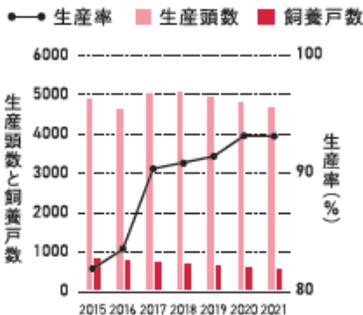
図2. 牛舎に設置された親機



図3. 宮古島市におけるモバイル牛温恵の効果

数字と図で見る「モバイル牛温恵」導入後の効果

※2020年度、宮古島市役所調べ



導入後の生産率は右肩上がり

モバイル牛温恵が導入された16年度以降、飼養戸数や生産頭数は減少しているものの、生産率は増加傾向で推移しており17年～21年は90%以上をキープしている。

【事例説明】

- 図1はモバイル牛温恵の導入前後の分娩事故率(リモート社調べ)
- 分娩の立会いが行えたことにより、導入後に分娩事故の発生率が大きく下がっている
- また図3はモバイル牛温恵の導入農家が多い沖縄県宮古島市で、モバイル牛温恵を導入している農家と導入していない農家の生産率を調査。(2020年度宮古島市調べ)
- 市全体の平均生産率が93.1%であるのに対し、導入していない農家が90%と平均を下回っているのに対し、導入している農家の生産率は105%と平均を大きく上回った。

- 導入した農家からは「分娩事故がゼロになった」という声も届いている
- 宮古島市は牛舎と自宅が離れている農家が多く、分娩前の見回り負荷が大きかったが、モバイル牛温恵を導入してからは通知を待つだけで済むため、心労が大きく軽減している

(株)セントラル情報サービス

牛体温監視システム 胃診電信



【製品説明】

- 牛の胃内に留置した体温計での深部体温の常時計測による繁殖・健康管理
- さまざまなシーンでの在籍牛個々の検温作業を省力化し、労働時間短縮に貢献
- 体温変化による分娩通知・発情通知や給水回数の把握により、安心安全を見える化します

【これまでの実績、利用者の声】

- 5000頭の牛の状況を一目で把握出来て、ピンポイントで治療を開始出来る

【対象営農類型】

酪農	肉用牛 (肥育)	肉用牛 (繁殖)			
----	-------------	-------------	--	--	--

【価格】

¥6,600 / 年 (税込み@1頭)

📞 連絡先

(株)セントラル情報サービス 牛プロジェクトチーム
06-5538-2532
info-isds@cisnet.co.jp
<https://www.cisnet.co.jp/ishindenshin.htm>

【実施事例】



【事例説明】

- 緊急出荷の頭数が明らかに減った。
- これまで牛の給水回数などは知ることがなかったが、胃診電信を使うことにより水を飲んでいない牛を知ることが可能になり、給餌調整や治療の判断に役立つ。
- 昔は膣に挿入するタイプの繁殖機器を使っていたが、膣炎や子宮炎を起こすことが多く、次回種付けが遅れていたが胃診電信は1度センサを飲ませたら、その後は手間もなく、分娩・発情等のイベント以外でも母牛の健康状態を把握することが出来ている。
- 繋ぎのホルスタインでの分娩通知でも非常に高い精度で胃診電信の通知があるので非常に助かっている。
- 牛との感覚的な距離が一気に縮まった。

- ご利用ユーザ 事例動画
井寄牧場さま (兵庫県)

